

日時：2016年12月1日(木) 17:30～

場所：共同会議室（研究棟B 2階）



金田 安史 先生

大阪大学 大学院医学系研究科

ゲノム生物学講座 遺伝子治療学分野 教授

癌の微小環境と治療戦略

(Strategy for cancer therapy based on the analysis of tumor microenvironment)

癌はそれ自身の増殖能のみならず、周囲の環境(tumor microenvironment: TME)を自らの生存に適したように変換させていく力がある。TMEの構成要素の細胞(血管内皮細胞、線維芽細胞、免疫細胞など)は、癌細胞によってその形質転換が引き起こされ、癌の増殖や転移を促進する能力を備えるようになる。その分子機構もようやく解明されつつある。したがって癌治療においても、癌細胞自身を標的にする方法にとどまらず、TMEの構成細胞の形質を抗腫瘍性に変えていく治療は新たな戦略として有効であろうと考えられるようになった。このセミナーでは、TMEの血管やリンパ管内皮細胞、マクロファージ、好中球を標的とした治療法について我々のデータをもとに紹介する。またTMEの性質を利用したDDSとして血小板ベクターの有用性についても言及する。

・大学院「先端医学トピックス」講義としても開講します・

コーディネータ：神経内科学／分子脳科学 教授 戸田達史
主催：シグナル伝達医学研究展開センター

連絡先：研究支援課研究企画係 TEL: 5195 E-mail: k9shien@med.kobe-u.ac.jp